

たけやぶ

2007.1.9

自主学童保育ささのはクア7"

"あけましておめでとう"



今年もおよろしく願います!

2007年が開けました。

2006年度としては、保育も運営としても「まゆめ」の時期が残され
ています。が、2006年、子ども達は「ひより」ひより、着実に大きくなり、
1年生は、ささのはならで色々な経験をして、ささのは、ここになり
まして2年生は、慣れたささのはをいっ泳いで、3年生は、1-ダ-とし
て一生懸命、頭を使い、いっを使っておくましくおきて、そして、高学年生は
高学年ならではの性格を、おまじ、おまじながら、いざとなつた時のたの
もさを充分発揮してくれ、この2ヶ月半で、「まゆめ」そび、ヌア-トへの
準備期」に入ることを感じます。運営も新規募集活動を進め、来る
14日(日)もちつき、新入生説明会、保育体験会は、みんなでお楽しみ
ましよう!

"年明け早く身がびきましたけん玉大会"

2007年、年明け早々の5日に、宮前市民館で「第4回市民けん玉大会」
が行われました。ささのはの子ども達も、おたのしみ会が終わってから、
「次はけん玉大会だね!」というほどに... 3年生以上は
「帰って来てから15分間は、けん玉にさわろうー!」と合言葉に
はじめました。大皿、小皿もままならなかった1年生は「エー!」と
言っていた始まりましたが、それが、それが、毎日重ねると、うまくなるのです。

「ろうそく」
このけん玉を
もつて1番と4番に
のせませう。

「ろうそく」という不安定な持ち方の技も2〜3回に1回は石で決まらな
「ろうそく」
「オム」!とおたけびとあげたくなるような「とめけん」と
いう技も、まぐれ回数が多い...と、とどん腕をあげ、まぐれでは
なく、ゴツゴツとつかみ始めている様です。2年生以上も、もちろん、次の技ができ
る様になるおもしろさは、「検査」という形で、更に「とめけん」という技が、
なる様です。けん玉大会には「けん玉」という団体競技があります。

「ろうそくけん玉」、「とめけんけん玉」両方とも10人1組で、ひとつのけん玉で
ろうそく(又はとめけん)という技を決めたり、次の人へ渡して10人技を決め
たり、終わりで、運送を競い合います。このけん玉も、何度も練習し、「ろうそくけん玉」
24-ム、「とめけん」けん玉24-ム出場しました。そして、なんと、なんと
「ろうそくけん玉」はAけん玉が優勝、Bけん玉は惜しくも4位、「とめけんけん玉」は
Aけん玉優勝、Bけん玉3位という成績をおさめました。ろうそくけん玉のBけん玉が
4位に上がった時は、対戦した相手は先に終わりましたが、このけん玉は途中、1年生
が「ろうそくけん玉」としてこのストップに、おたのしみ、この1年生は、ボ-然、
隣にいた4年生が、「けん玉が悪いやん、けん玉はけん玉」と、けん玉-一生けん玉
なぞてあげていたんです。そんな場面が、たくさんおぼろげに、ものすごい緊張の中
仲間の手持ちを、おぼろげに、おぼろげに、おぼろげに、おぼろげに、おぼろげに、
また個人戦では、級別に競い合います。けん玉の性格(?)が、
争戦の点数制のうち、順位はおぼろげなもので、けん玉、準決勝、決勝となる
「対戦の勝負」になると、けん玉は、けん玉、けん玉、けん玉、けん玉、けん玉、けん玉、
のには、「ささ-い!!」「ささ-い!!」と思われました。

個人戦	級の部	優勝
3級〜準初段部	新倉知弘くん	4位
4級〜6級の部	伊藤和輝くん	準優勝
	佐藤桃子さん	4位
	河野慈子さん	4位
	成田穂乃花さん	4位

ちかめ入賞	級の部	伊藤和輝くん
	級の部	新倉知弘くん
	級の部	伊藤桃子さん